



スーパースター

大名の名宝

永青文庫×静岡県美の狩野派



スーパースター

細川家の御宝が静岡にやってくる！

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

令和5年 **10月17日(火)～12月10日(日)**
前期 10月17日(火)～11月12日(日) 後期 11月14日(火)～12月10日(日)

休館日: 毎週月曜日 開館時間: 10時～17時30分(展示室への入室は17時まで) 観覧料: 一般1,400円(1,200円)、70歳以上700円(600円)、大学生以下無料 主催: 静岡県立美術館
※()内は前売および20名以上の団体料金。 ※収蔵品展、ロタン館もあわせてご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

ご観覧にあたり事前予約の必要はありません。／前売券は10月16日(月)まで販売

【前売・当日券】チケットぴあ、セブンイレブン(PCODE共通:686-561)、ローソンチケット、ミニストップ(LECODE共通:42765)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館
【前売券のみ】大和文庫、戸田書店(江尻台店)、谷鳥屋(ハルシェ店・マークイズ静岡店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA
県主催事業



永青文庫

は、肥後熊本54万石を治めた大大名・細川家の下屋敷跡にある、東京で唯一の大名家の美術館です。南北朝時代より700年の歴史を有する細川家伝来の美術工芸品や歴史資料など、永青文庫の所蔵品は、約9万4000点にのぼり、そのなかには、狩野派の傑作や重要作が含まれています。

本展では、永青文庫の狩野派の全容を調査して優品を選び、すぐり、当館の狩野派作品を組み合わせることで、狩野派の歴史を辿ります。狩野派の主流による名品で成り立つ両館のコレクションを掛け合わせる、初の試みです。会場で、ぜひ狩野派の魅力をご堪能ください。

左：狩野元信「細川澄元像」(永青文庫 重要文化財) 右：狩野探幽「富士山図」(静岡県立美術館)



1. 大大名・細川家の狩野派コレクションが30点、静岡県立美術館で見られます



狩野宗眼重信「帝鑑図・咸陽宮図屏風」(部分)(静岡県立美術館)

永青文庫と言えば、国宝8件、重要文化財35件をふくむ作品をご所蔵の、すごい美術館ですね。2010～12年に東京、京都、九州の国立博物館で開催された「細川家の至宝―珠玉の永青文庫コレクション」展みたい、国立博物館で巡回する規模の展覧会ができる、多くの御宝を擁する美術館じゃないですか・・・本当に当館で永青文庫の作品を迎え入れていいんですか！？



狩野栄信「百鳥図」(永青文庫) ※前期展示

狩野伊主弘信「細川齊茲像」(部分)(永青文庫)

はい！細川家とゆかりの深かった狩野派の魅力を存分に味わえる、またない機会です！！



2. 室町時代から幕末まで。狩野派400年の歴史を、永青文庫・静岡県立美術館の名品によって辿ります

狩野探信守政・探雪「絵鑑」(部分)(永青文庫)

細川家の御膝元・熊本県にある熊本県立美術館以外では、県立の美術館のコレクションと永青文庫の狩野派コレクションを掛け合わせて、ひとまとめに展示するのは初めての機会なんです。



狩野安信ほか「名画集」(部分)(静岡県立美術館)

ええええ！？うちで大丈夫なのかな・・・？



狩野栄信「楼閣山水図屏風」(部分)(静岡県立美術館)

不安だね。でも、お互いの館のコレクション調査を進めたら、お互いの館で持っている名品の時代が違うために、両館のコレクションを掛け合わせると、**狩野派の名品が時系列で迎えられる**ことが分かってきたんだ。例えば、永青文庫には、狩野元信をはじめ、室町から桃山時代の画家の名品が、静岡県立美術館には、狩野探幽をはじめ、江戸時代の画家の名品があるんだ。当館では、「**狩野派の世界**」展と題し、定期的に狩野派展を開催し、狩野派、とりわけ江戸時代の狩野派の名品を、開館以来、こつこつと集めてきたよね。そのなかで、探幽のような巨匠から、江戸時代中後期の実力者まで、最新の研究成果を反映して、現在までコレクションを増やしてきたから、名品を守り伝えてきた永青文庫とは違う特色があるんだ。だから、**両館のコレクションを掛け合わせると、狩野派400年の歴史**のなかで生み出された名品が迎えられる展覧会ができるはずだよ！



3. 本展にあわせて進めた研究成果を反映し、名品だけでなく、知られざる永青文庫の狩野派コレクションにも光を当てます

狩野栄信・養信「唐画流書手鑑」(部分)(静岡県立美術館)

この展覧会にあわせて、永青文庫、熊本県立美術館と静岡県立美術館で調査をする、狩野派作品、それに、狩野派が見た中国絵画も含めて、これまでほとんど展示されたことのない御宝も紹介するよ！この機会に、**知られざる永青文庫の御宝**を楽しんでくださいね！



伝観樓「芙蓉映水図」(永青文庫)

【表面】上段左：狩野栄信「春秋山水花鳥図」(静岡県立美術館) 上段右：狩野養信「胡蝶船遊之図」(永青文庫) 中段左から狩野山楽「狩狐圖」(永青文庫) [熊本県立美術館寄託]、狩野探幽「白鶴図」(静岡県立美術館)、狩野元信「細川澄元像」(永青文庫 重要文化財)、狩野探幽「富士山図」(静岡県立美術館) ※いずれも部分図 ※会期中、一部の作品を展示替えします。

関連イベント いずれも申込不要

記念講演会

「細川家の歴史と永青文庫」

講師：細川護光氏(公益財団法人永青文庫理事長)

日時：10月17日(火) 10:30～11:00

会場：当館講堂 ※定員260名、先着順



展覧会企画者対談

「大大名の名宝展ができるまで」

講師：佐々木英理子氏(公益財団法人永青文庫主任学芸員) × 野田麻美氏(神戸大学大学院人文学研究科専任講師、当館客員学芸員)

日時：11月12日(日) 14:00～15:30

会場：当館講堂 ※定員260名、先着順

館長美術講座

「肥後熊本の殿様のお屋敷について」

講師：木下直之(当館館長)

日時：11月26日(日) 14:00～15:30

会場：当館講堂 ※定員260名、先着順

学芸員によるフロアレクチャー

日時：10月28日(土)、11月23日(木・祝)、12月3日(日)、いずれも11:00～

集合場所：第1展示室(要観覧券)

次回展覧会

(12月11日～令和6年2月9日は設備改修工事のため休館)

あまつちこうさく

「天地耕作展」(仮)

令和6年2月10日(土)～3月27日(水)

静岡市美術館の展覧会

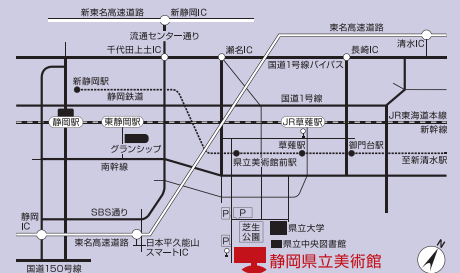
NHK大河ドラマ特別展「どうする家康」

令和5年11月3日(金・祝)～12月13日(水)

お問合せTEL. 054-273-1515

交通案内

- ・JR「草薙駅」県大・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
- ・JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
- ・JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
- ・静岡鉄道「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
- ・東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分



〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

ウェブサイト <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

企画総務課 TEL. 054-263-5755 / 学芸課 TEL. 054-263-5857

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art

東アジア文化都市2023 静岡県
Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

東アジア文化都市2023静岡県実行委員会認証事業